

第5回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議

日時：令和6年2月14日（水）13:00～

場所：ホテルモナーク鳥取 仁風東の間

[オンライン併用]

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) サイクルツーリズムに関する推進体制の充実

4 報告事項

(1) 鳥取うみなみロードの整備進捗状況

(2) 報告及び今後の展開

(3) その他

5 意見交換

6 閉会

鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議 出席者

区分	団体名	役職	氏名	会場
サイクリスト	鳥取県サイクリング協会 *	副会長	奥村 耕一	
	とっとりサイクルツーリズムの会	会長	山下 眞里	○
	鳥取中部ツーリズム協議会	理事	津村 佳英	
自転車産業	鳥取県自転車商協同組合	副理事長	河井 広道	○
サイクル拠点	(有)森の国 (コグステーション大山)	代表取締役社長	伊澤 大介	
	皆生温泉旅館組合米子市観光センター (コグステーション皆生)	理事	細羽 正	
観光・経済	鳥取県商工会連合会	会長	土井 一朗	○
	鳥取県商工会議所連合会	幹事長	中山 孝一	○
	(一社) 日本旅行業協会中四国支部鳥取地区委員会	委員長	河野 明百	
	(一社) 全国旅行業協会鳥取県支部 *		奥村 隆史	○
交通	西日本旅客鉄道(株)マーケティング本部 鉄道マーケティング部 山陰営業部	部長	新森 恵太	
国	鳥取河川国道事務所	事務所長	貴田 勝太郎	○
	倉吉河川国道事務所	事務所長	藤原 年生	
	日野川河川事務所	事務所長	大塚 尚志	

区分	団体名	所属・役職	氏名	会場
市町村	鳥取市 *	観光・ジオパーク推進課 課長補佐	山田 健一	○
	米子市 *	観光課 主任	竹歳 侑真	
	倉吉市 *	経済観光部 部長	谷田 富穂	
	境港市 *	観光振興課 課長	坂田 卓宏	
	岩美町 *	商工観光課 主任	植田 修平	
	若桜町 *	経済産業課 係長	津川 尚貴	
	智頭町 *	企画課 課長	酒本 和昌	
	八頭町 *	産業観光課 商工観光室 室長	桑谷 陽介	○
	三朝町 *	観光交流課 課長補佐	漆原 良次	
	湯梨浜町	町長	宮脇 正道	○
	琴浦町 *	産業振興課 課長補佐	井中 修司	○
	北栄町 *	副町長	岡本 圭司	○
	日吉津村	村長	中田 達彦	
	大山町	町長	竹口 大紀	
	南部町 *	企画政策課 課長	田村 誠	
	伯耆町 *	産業課 課長	影山 孝宏	○
	日南町 *	副町長	角井 学	
	日野町 *	産業振興課 課長	五百川 和久	
	江府町	町長	白石 祐治	
県	鳥取県	知事	平井 伸治	

【議題 1】サイクルツーリズムに関する推進体制の充実

これまでの経過・背景

- サイクルツーリズムに関して、官民で連携して議論をするため令和3年2月に「鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議」を立ち上げ、サイクリストの聖地化に向けた議論を進めてきた。
- 鳥取うみなみロードへの矢羽根等の設置など自転車走行環境整備が進んだほか、サイクルカフェやサイクリストに優しい宿など受入環境整備の充実、各地域におけるサイクリングイベントの開催など、県内のサイクルツーリズム推進の機運が高まってきた。
- 鳥取うみなみロードでのNCR指定への挑戦を一つのきっかけとして、県全域で自転車活用を進め、県内サイクルツーリズムの一層の推進を図り、サイクリストの聖地・鳥取県の実現を目指すため、推進体制の充実を図る。

<体制充実に向けた変更点>

[変更点1]

「鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議」への県内全市町村の参画

[変更点2]

「鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議」の規約の制定
(サイクルツーリズム推進の目的や体制の明確化)

【議題 1】サイクルツーリズムに関する推進体制の充実

[1] サイクルツーリズム推進体制について

- 鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議における構成を再整理するとともに、県内全市町村の参画により推進体制の充実を図る。

鳥取県サイクルツーリズム
推進・連携会議

[構成] 国、県、市町村、商工団体、各関係団体等のトップで構成
[目的] 鳥取県全域における自転車活用推進、サイクルツーリズム推進の検討

鳥取うみなみロード
ワーキンググループ(WG)

[構成] 構成団体の実務者(担当課長等)レベルで構成
[目的] サイクリングロードの整備・利活用、ナショナルサイクルルート
指定に向けた取組検討

※必要に応じて他テーマのWG設置

タスクフォース

[構成] 個別具体の事象ごとの担当者
現時点では、走行環境、受入環境の2つを設置
[目的] 必要に応じて個別事象に関して検討を行う

[市町村の参画]

- ☞ 国や県、市町村、民間団体等において、サイクルツーリズム施策や自転車活用推進に関して相互に情報の共有・連携することにより、全県域でのサイクルツーリズム推進、自転車利活用を進め、地域活性化につなげる。

【議題 1】サイクルツーリズムに関する推進体制の充実

[2] 規約について

- 本会の目的や体制を明確化するため、規約を制定する。

《規約(案)抜粋》

(目的)

第2条 連携会議は、官民の関係者が意見交換及び連携した取組を進めることにより、県内の自転車活用推進並びにサイクルツーリズム推進を図ることで交流人口の拡大、地域の活性化につなげることを目的とする。

(所掌事務)

第3条 連携会議では、次の事項についての検討や調整を行う。

- (1) 県内のサイクルツーリズム推進に関すること
- (2) ナショナルサイクルルートに関する取組推進に関すること
- (3) その他目的の達成に必要な事項に関すること

(構成員等)

第4条 連携会議は、会長及び構成員をもって組織する。

- 2 会長は県知事をもって充てる。
- 3 会長及び構成員は別表の機関名等の欄に記載した機関または団体(以下「機関」という。)の長または長が指名した者とする。
- 4 会長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、連携会議に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。
- 5 構成員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(アドバイザー)

第5条 連携会議には、第3条の所掌事務を行うにつき必要な助言等を得るため、アドバイザーを置くことができる。

- 2 前項のアドバイザーは連携会議等に参加し、参加者の求めに応じて助言等を行う。

別添 規約案参照

【報告事項 1】鳥取うみなみロードの整備進捗状況

➤ 走行環境整備

○ 各道路管理者(国、県、市町村)による、矢羽根や自転車ピクトグラム路面標示等の設置。

※整備進捗概算(令和5年度末見込み)

・鳥取うみなみロード整備計画(計画期間:令和5年度から令和6年度)に対する進捗割合

矢羽根設置 約8割 ピクトグラム・路面表示 約7割

注意喚起看板・案内看板 約2割

整備例



[今後展開] (※鳥取うみなみロード沿線道路管理者)

- ・矢羽根や注意喚起看板などの設置により、安全で快適な走行環境整備を促進。
- ・令和6年度中に「鳥取うみなみロード整備計画」における整備を完了させること。

【報告事項 1】鳥取うみなみロードの整備進捗状況

➤ 受入環境整備

✓ ゲートウェイ整備(鳥取砂丘コナン空港)

○鳥取砂丘コナン空港を鳥取うみなみロードのゲートウェイ(交通結節点におけるサイクリング拠点)として整備。

※現在、自転車組立解体スペースの設置や館内サイン設置、周辺観光看板設置など更なる整備を進めている。

✓ サイクリングホームページの多言語化(情報発信)

○県サイクリング公式ホームページ「とっとり自転車旅」の多言語化(英語)



▲ホームページイメージ図

✓ 鳥取うみなみロードのルートマップ作成

○鳥取うみなみロードのルートマップの作成(日本語・英語)

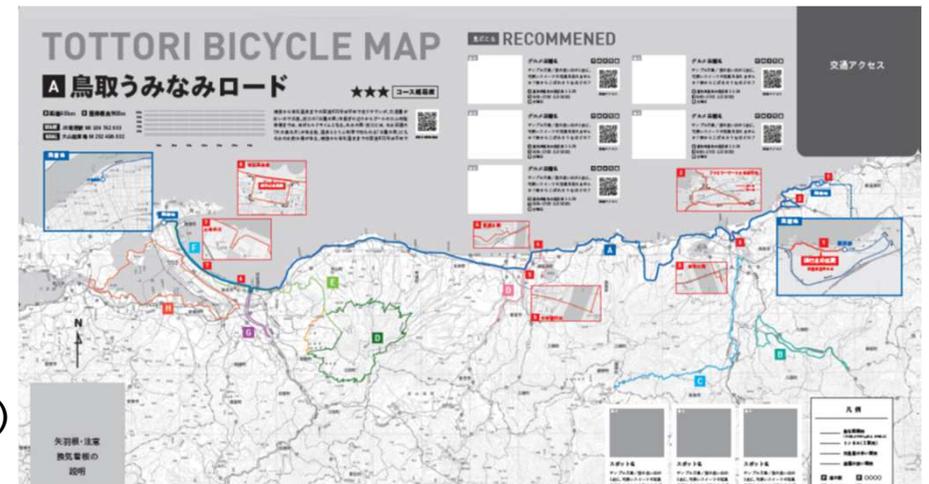
サイクリストが鳥取うみなみロードを安心・快適

に走行するために必要な情報(ルート図、勾配などの注意箇所等)を掲載する。

▼ 館内案内表示等整備の完成イメージ



県内ルート情報に加え、ダイジョウブシステムやレンタサイクル拠点のほか、交通マナーなどを掲載



▲マップイメージ

【報告事項2】報告及び今後の展開

○ 八頭・若桜周遊サイクリングルート整備完了

- ・各道路管理者(国、県、八頭町、若桜町)の連携のもと、令和5年度にルート上に距離標・方向標の設置が完了。
- ・整備完了を記念して、サイクリングイベント「やずわかライド」を3月20日(水・祝)に開催予定。



《整備内容》

迷わずに安全・快適に走行できる環境整備のため方向標及び距離案内の路面表示を設置



やずわかライド

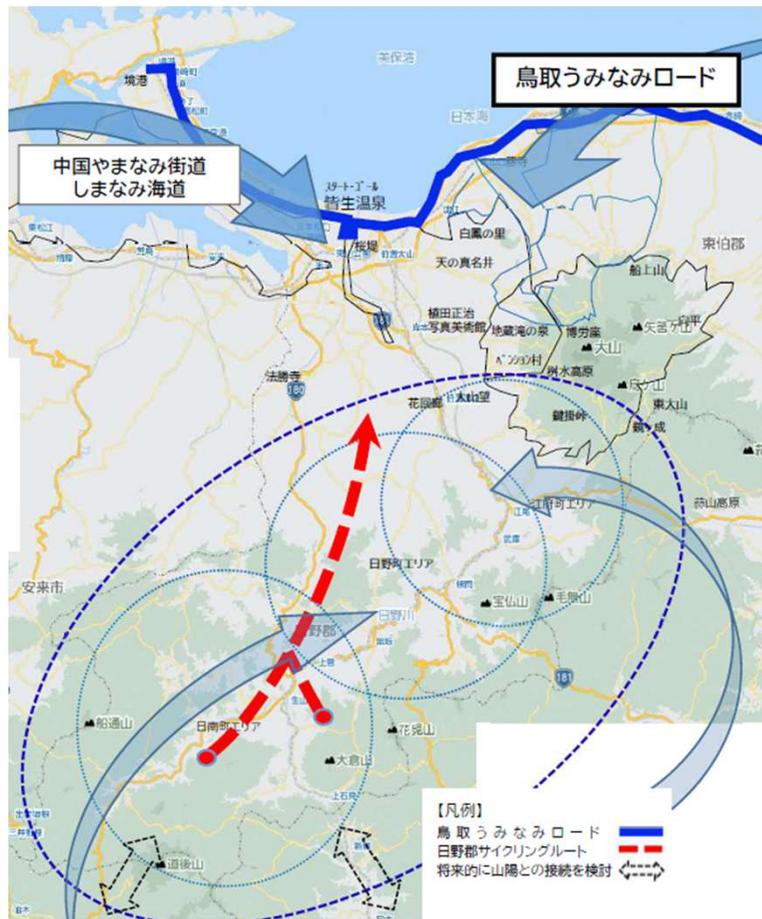
開催日:3月20日(水・祝)
コース:八頭・若桜周遊サイクリング
ルートを使った特別コース
定員:100名[2コースそれぞれ50名]
*ポタリングコース(23.3 \square)
*ぐるっと周遊コース(41.7 \square)

【報告事項2】報告及び今後の展開

○ 日野郡でのサイクリングルート設定の動き

日野郡3町長と鳥取県知事による鳥取県日野郡連携会議において「自転車を活用した交流人口拡大に向けた方策」を含めた共同宣言を行い、次の検討を進めている。

- ・日野郡3町や関係機関と連携し、日野郡を南北に繋ぐサイクリングルート設定
- ・サイクリスト誘客のみならず、様々な視点による自転車の活用推進



▲ 共同宣言（令和5年10月26日）

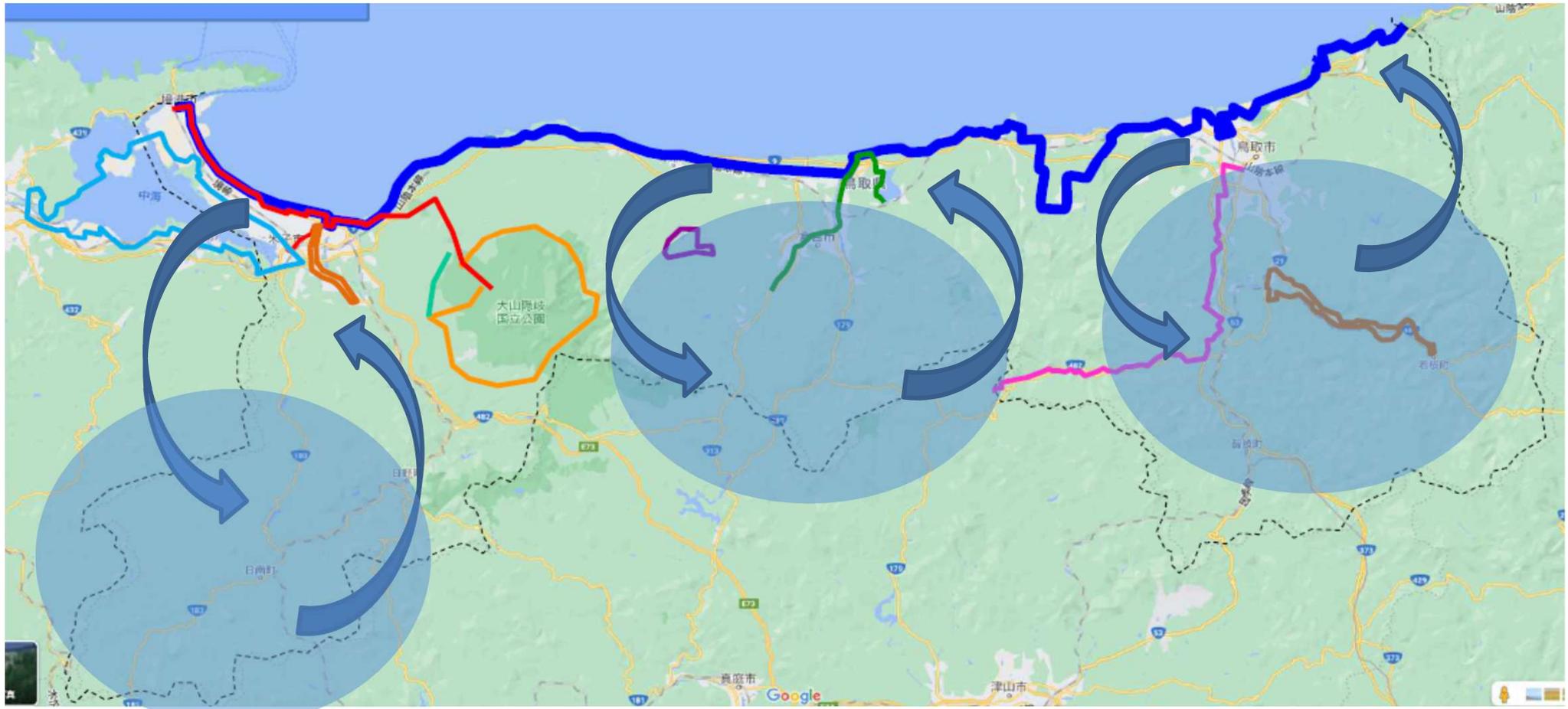


▲ RICO CYCLE [コグステーション江府]

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ 県内サイクリング周遊の仕組みづくり

○鳥取うみなみロードを基軸として、各地域におけるサイクリング周遊性を高めるため、地域ごとにあるテーマ性を持った魅力あるモデルルート設定・整備について、各市町村や関係団体等と連携しながら検討を進めていく。



[今後の展開]

- ・鳥取うみなみロードから各圏域の周遊を促すためのサイクリングルートの設定
☞ サイクリング周遊ルートの提案

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ 受入環境整備等 [1]

(1)ダイジョウブシステムの運用 《安心してサイクリングを楽しむためのサポート体制》

- コグステーション(11施設)
- サイクルカフェ(163店舗)[+13]
- サイクルポート(116店舗)[-3]
- サイクリストに優しい宿(37施設)[+14]
- サイクルキャリア搭載UDタクシー(19事業者)[-1]

※R6年2月1日時点。[]はR5年度の増減数。



コグステーション皆生

- ◆ サイクルカフェ・ポートにおいて、バイクラックや看板等の設置状況や提供サービス(工具貸出等)の点検とともに、サービスマニュアルを配布し、ダイジョウブシステムのサービス品質の向上を図った。

[今後の展開]

- ・県内全域でのサイクリスト受入環境整備をさらに促進
 - 👉 サイクリストwelcomeな事業者・施設へのダイジョウブシステム参画への働きかけ・紹介

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ 受入環境整備等 [2]

(2)サイクリングガイドの養成

座学2回と鳥取市国府町・三朝町での実技講習に13名が参加。サイクリングツアー造成のポイントをはじめ、安全管理などツアー実施に必要な実践的な知識を習得した。



[今後の展開]

- ・実技未実施の市町村における実技講習の実施
- ・実技講習の実施に合わせたサイクルツーリズムに参画する事業者の拡大
 - ☞ サイクリング事業を始めたい(受け入れたい)事業者などへの働きかけ・紹介
 - ☞ 実技講習の開催地への立候補
 - ☞ 宿泊や食・体験などを絡めたサイクリングコンテンツの造成

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ 情報発信・機運醸成の取組

➤ 自転車利用環境向上会議への参加

- 自転車利活用に関する全国会議のポスターセッションに参加し、大山時間とともに、鳥取県のサイクルツーリズム・鳥取うみなみロードの魅力の発信、山陰本線でのサイクリトレインの取組状況を発表

《自転車利用環境向上会議》

- ・11月3日・4日(仙台市・名取市)にて開催
- ・自転車利用環境向上会議全国委員会 (JCC)が主催。
- ・JCC会長は三国成子氏(米子市出身)
- ・基調講演のほか、分科会、エクスカージョンがあり約300名が参加。
- ・来年度は福井県嶺南地域での開催。



[今後の展開]

- ・県外での全国会議やサイクリングイベントへの出展などにより、鳥取県のサイクリストの聖地化を強力に情報発信をしていく。

〔 サイクルモード(3月大阪、4月東京)、富山湾岸サイクリング大会(4月)、自転車利用環境向上会議 (10月福井県)などに出展を計画中 〕

👉 発信してほしい情報・素材の提供やイベント出展等への共同参加

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ 情報発信・機運醸成の取組

➤ SetouchiVelo協議会への参画



○サイクリング先進地である「しまなみ海道」をはじめとした瀬戸内地域との連携を深めるとともに、瀬戸内圏域のサイクリングネットワークに加入し、広域的な情報発信を進めていくため令和5年10月に参画。

[現在の構成団体]

瀬戸内地域の地方自治体(広島県、岡山県、兵庫県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、**鳥取県**)、地方整備局、運輸局、経済産業局、経済連合会、本四高速(事務局)



○SetouchiVelo協議会のHPやルートマップに県内のサイクリングコースも掲載される予定

[今後の展開]

・4月下旬に米子市を中心にSetouchiVelo協議会のタウンミーティング(試走会+講演会等)を開催予定。

《実施(案)》

トライアルライド	・日時 4月25日(木)予定 ・コース 弓ヶ浜サイクリングコース(境港市～米子市) ・参加者 SetouchiVelo関係者、地元自治体、地元関係者等30名程度
ミーティング レセプション	・日時 4月25日(木)予定 ・会場 皆生温泉(想定) ・参加者 SetouchiVelo関係者、地元自治体、地元自治体30名程度

◆ 実施概要確定後にご案内するので、連携会議構成員の積極的な参加をお願いします。

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ サイクルレインの実証実験事業

サイクルレイン運行において課題となっている、安全性及び収益(集客)性の検証のための実証事業を国及び県の補助金を活用してJR西日本が実施。

[検証1]臨時列車運行による実証実験

・列車への自転車持ち込みによる乗り降りや、列車内での自転車配置・固定方法についての検証。

[検証2]駅構内の動線確認実証実験

・駅構外からホームまで、自転車を携行したサイクリストの通行が可能か検証を実施。

[検証3]集客性の検証として、大山町内でのサイクルレインツアー実証実験

・駅起点としたサイクリング周遊ツアーを販売。集客性確認と参加者へアンケートを実施。

- ☞ ホームと列車間に段差があるなど注意が必要なところやサイクルレイン実施が施設整備的に難しい駅もあるなど、乗降時や列車内での安全性に関する課題抽出をすることができた。
- ☞ 実施したツアーには普段JRを利用していない方が参加するなど一定の集客性も認められた。



※大山町でのサイクルレインツアーの様子がNHK「サンドどっちマンツアーズ」(2/18,25)で取り上げられる予定。

[今後の展開]

- ・検証結果をもとに、山陰本線でのサイクルレイン運行の在り方についてJR西日本等関係者と継続的に協議・検討をしていく。

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ 情報発信・機運醸成の取組

➤ 徳島大学サイクルツーリズム講座in鳥取(7/7)

○(株)ARCHの高橋幸博代表、徳島大学の山中英生教授、矢部拓也教授が、サイクルツーリズムに関する講演を
するとともに県内事業者と広く意見交換

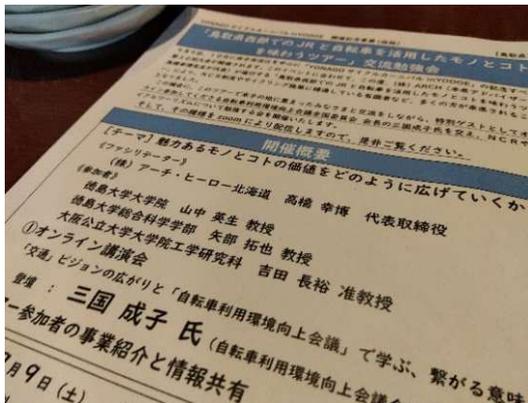
(現地+オンライン 約100名参加)



※開催に先立ち、鳥取市長・倉吉市長に表敬訪問。

➤ JR と自転車を活用したモノとコトの価値を味わうツアー・勉強交流会(9/9,10)

○YONAGOサイクルカーニバルinYODOEに合わせ、(株)ARCHによる県外のサイクリング有識者が参加するサイクリングツアーにおいて、県西部でのサイクリングツアー及び勉強交流会を開催。(ツアー参加者13名[東京、千葉、福井、大阪など各地よりJRで来訪])



JR と自転車を活用したモノとコトの価値を味わうツアー

Presented by Local to Locals 地方と地方をつなげるツアーガイド



天池 (山陰本線) 鬼太郎列車(鳴門線) サンライズ出雲 (山陽線)

【報告事項 2】報告及び今後の展開

- 県内開催のサイクリングイベントは参加者からの評価が高く、県外から多くのサイクリストが参加をしている。

県内サイクルイベント

《サイクリストの声》

- 素晴らしい景観の中、走ることができて楽しかった。また、エイドの食事が充実。
- 景色やロケーションが素晴らしく、コース設定が良い。
- 厳しいコースだったが、地元の方の応援もあり、走りきることができた。また走りに来たい。
- イベント参加だけでなく、日本海の潮風を浴びるような時期(冬季)にも走ってみたい。

レンタサイクル拠点事業者の状況

- ここ近年、レンタサイクルの貸出が増えてきている。
- 鉄道写真のスポットを巡ったり、田舎の風景の中をサイクリングする目的で利用する県外客が多い。

☞ 行政や各団体など関係者が実際に県内サイクリングルートを走って地域を巡り、走る楽しさや立ち寄りスポット(景観、飲食店等)の魅力を体感・再認識し、それぞれが主体的に魅力を発信したりサイクリストにウェルカムな施設の拡大へ取り組むなど、県内でのサイクルツーリズムの機運醸成を図っていくことが重要。

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ 航路の活用 ～韓国からのインバウンド誘客～

○イースタンドリーム号の境港寄港が決定し、韓国からの鳥取県来訪者が増える見込み



- 就航以来、寄港地の韓国、欧州など世界中の60を超える国の人々が利用
- コンテナ、バルク貨物等、あらゆる貨物にも対応
- 自転車や車両持ち込みにも対応

◇ イースタンドリーム号(11,478総トン、定員530人、車両250台)

航路免許証発行日:令和6年1月31日

航路:東海港～境港

◆境港への寄港スケジュール(想定)

- ・試験運航:R6年5月、正式就航:R6年7月
- ・土曜日朝入港、日曜日夕方出港、週1便の運航

[今後の展開]

- ・航路を利用する乗船客の趣向に合う本県のサイクリングなどの情報を集中的な発信
- ・鳥取県内のサイクリング等の受入環境充実を図る。
 - ☞ 発信素材の提供や各市町村における韓国向けにサイクリング等アクティビティの発信
 - ☞ 多言語対応させたサイクリング等パンフレットの作成

【報告事項2】報告及び今後の展開

➤ サイクリングイベント開催予定（令和6年）

大会名	主催者	参加者規模	イベント開催日
やずわかライド	八頭町、若桜町、八頭町観光協会・若桜町観光協会	100名	3月20日(水・祝)
ツール・ド・大山	鳥取県サイクリング協会	400名	5月19日
鳥取うみなみ250	鳥取中部ツーリズム協議会	200名	6月23日 予定
ヒルクライムin 大山	鳥取県サイクリング協会	100名	9月15日 予定
YONAGOサイクルカーニバルinYODOE2024	YONAGOサイクルカーニバルinYODOE2024 実行委員会(米子日吉津商工会)	500名	9月中旬 予定
グランfond倉吉	鳥取中部ツーリズム協議会	400名	10月13日 予定
大山ライド2024	ねんりんピック事務局(鳥取県サイクリング協会)	200名	10月20日
鳥取すごい！ライド	鳥取すごい！ライド実行委員会	600名	10月下旬 調整中
第12回八東ふる里の森ヒルクライムレース	八東ふる里の森	100名	10月末頃 予定
西いなばサイクルDAY	西いなば実行委員会(鳥取市西商工会内)	100名	11月3日 予定

※このほか、サイクリングを複合的に活用したイベントとして、シートゥーサミット皆生大山大会（5月25,26日）、皆生トリアスロン（7月末）などが予定されているほか、米子クリテリウムや八頭町姫路公園でのMTBなど、スポーツサイクルの活用も盛んとなってきている。

[今後展開]

- ・サイクリングイベントの開催支援を実施
 - ☞ サイクリングイベントへの支援・協力
 - ☞ 来訪者へのおもてなしや誘客の検討

【報告事項3】その他（鳥取うみなみロードの整備進捗状況）

➤ 鳥取うみなみロードの充足状況

【令和5年度末には28項目中23項目達成予定】

	チェック項目（必須要件）	充足状況	備考	
ルート設定	①ルートの延長が概ね100km以上であること（離島・島しょ部は除く）	○		
	②地域を代表する観光地（歴史・文化・景勝地等）を有機的に連携するルート	○		
	③自動車交通量が概ね10,000台/日以上 of 幹線道路において車道混在となる区間を避けたルート	○	矢羽根設置により対応	
	④狭小幅員のトンネルを含まないルート	○	注意喚起看板により対応	
	⑤自転車で通行できない区間がない	○		
走行環境	①都市部において、自転車専用道路又はガイドラインに基づき市区町村の自転車活用推進計画における自転車ネットワーク計画に位置付け、適切に歩行者・自動車と分離された自転車通行空間が整備されている。	×	R6年度 約7割完了見込	
	②郊外部においても、自転車専用道路又は、ガイドラインに基づき、適切に歩行者・自動車と分離された自転車通行空間が整備されている。 ※車道混在の場合で、自動車交通量が概ね10,000台/日以上の場合、100m程度の間隔で矢羽根を設置とともに、外側線の外側に1.5m以上（やむを得ない場合は1.0m以上）の幅員を確保すること。 【整備進捗】※鳥取うみなみロード整備計画に対する整備割合 ・令和5年度末 矢羽根 約8割、ピクトグラム・路面表示(注意喚起) 約7割、案内看板 約2割 が整備完了予定 ・令和6年度中には全線（国、県、市町村管理道）で整備完了する見込み。 ⇒評価の目安となるNCR要件充足率7割を達成する見通し （路肩幅確保できないなど非適合区間があるため）	×		
	③トンネル、橋梁部、急勾配箇所 of 現地に看板等の案内表示がなされている	×		
	④自転車損害賠償責任保険等の加入を義務（努力義務含む）付ける条例が制定されている	○		
	⑤未舗装区間がない。ただし、快適性の劣らない自然地の未舗装区間等を除く。	○		
	⑥ルート名、自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示が設置されている （単路部：概ね5km毎 分岐部：必要箇所全部）	○		
	⑦ルート名、自転車ピクトによる経路や距離に関する案内看板が設置されている （単路部：概ね5km毎 分岐部：必要箇所全部）	×		R6年度 完了見込
	⑧海外のサイクリストでも認識可能な多言語（日英2か国語以上）やピクトグラムでの案内	○		
	⑨ナショナルサイクルルート指定後に自転車活用推進本部事務局がナショナルサイクルルートの共有仕様として示すロゴマークを設置する。	-		（指定後）

【報告事項3】その他（鳥取うみなみロードの整備進捗状況）

➤ 鳥取うみなみロードの充足状況

	チェック項目（必須要件）	充足状況	備考
受入環境	①ルートに存する域内にある主要アクセスポイント（空港、鉄道駅、道の駅等）に必要な機能を備えたゲートウェイが整備されている。（レンタサイクル・シェアサイクル、情報入手、ロッカー、着替えスペース、工具貸出）	○	R5完了 (鳥取空港)
	②ゲートウェイとルート間のアクセスルートが整備されており、そのアクセス方法もわかりやすく案内されている。	×	R6年度 完了見込
	③サイクリストが必要とする機能を備えたサイクルステーションがルート上に概ね20キロごとに整備されている。（トイレ・空気入れ貸出し、水分補給、休憩スペース（屋根付きのテーブル・椅子、サイクルラック、情報入手）	○	
	④ルート直近にサイクリストが必要とする機能を備えた宿泊施設が概ね60キロごとにある。（室内での自転車預かり・保管、荷物の保管、洗濯）	○	
	⑤緊急時の事故対応等のため、自転車専用道路等に緊急車両の進入が可能な環境が整備されている。また概ね2キロごとにアクセスが可能な環境が整備されている。	○	
	⑥緊急時の連絡体制やサポート可能な施設情報がルートマップ及びホームページなどで記載されており、サイクリストが困らない情報提供がなされている。	○	
情報発信	①HP、SNS及びパンフレットなどでサイクリストに必要な情報を発信している	○	
	②インバウンドに対応した多言語（日英2か国以上）で情報発信している	×	R5年度 完了予定
	③ルートマップに、以下のような内容が記載されていること ・ルートの経路、距離、高低差、勾配、路面状況、危険箇所、利用者別等推奨コース、ゲートウェイの場所と機能、サイクルステーションの場所と機能、地域の拠点、立寄スポット、周辺の観光スポット、ルートの紹介（写真等）、レンタサイクル、宿泊施設、WI-FI利用環境、ルートで利用できるサイクルトレイン等、ガイドツアー、緊急サービス（自転車修理、医療施設等）、自転車宅配・荷物輸送等サービス情報、アクセス方法（公共交通アクセス等）、ホームページ等のURL	○	
	④ルートマップについて、インバウンドの旅行者でも理解できるものであること	×	R5年度 完了予定
	⑤ルートマップを観光案内所、サイクルステーション、複数の交通拠点（道の駅、鉄道駅、空港等）、宿泊施設で容易に入手できる	○	
	⑥ルートマップをPC又はスマートフォンで閲覧できるとともに、PDF等でダウンロード可能である	○	
取組体制	①官民が連携し一体的に協議・検討・議論を行う常設の協議会、事務局が設置されている。	×	R5年度 完了予定
	②上記の協議会が定期的に行われている	○	
	③指定されたナショナルサイクルルートに関する水準維持等に向けた取組内容を都道府県・政令市の地方版自転車活用推進計画に具体的に位置づける	○	